

# 環境・社会報告書

## 2015



アネスト岩田株式会社

ANEST IWATA

## 編集方針

本報告書はアネスト岩田グループ（以下、当社）の環境保全活動及び環境配慮製品を通じた環境負荷低減活動を中心に作成しています。なお、資源保護の見地から、電子媒体のみで発刊しております。

## 対象組織

- アネスト岩田株式会社
- アネスト岩田コンプレッサ株式会社
- アネスト岩田キャンベル株式会社
- アネスト岩田コーティングソリューションズ株式会社
- アネスト岩田真空サービス株式会社

連結決算対象範囲のうち、概ね52%（外部売上高比率）となります。

## 対象期間

2014年4月1日～2015年3月31日

## 発行日

2015年9月（次回予定:2016年7月）

## 免責事項

本報告書には、当社の将来に関する予測・予想・計画なども記載しています。これらは記述した時点で入手できた情報に基づいた仮定ないし判断であり、将来の事業活動の結果や将来に惹起する事象と異なる可能性があります。

## 発行

アネスト岩田株式会社

塗装機事業部 広報室

横浜市港北区新吉田町3176番地

TEL : 045-591-1118

メール : [aijinfo@anest-iwata.co.jp](mailto:aijinfo@anest-iwata.co.jp)

ホームページ : <http://www.anest-iwata.co.jp/>

## CONTENTS

02	ごあいさつ
03-04	環境マネジメントの概要
05	重要な環境課題及び主要な経営指標の状況
06	環境汚染防止
07	温室効果ガスの削減/省エネルギー
08	循環型社会の形成
09-10	製品開発における環境配慮
11-13	社会的取り組みの状況
14	会社情報



## 私たちは、人と地球の未来のために 持続可能な社会に貢献できる企業を目指します。

私たちアネスト岩田グループは、創業以来の社是である「誠心」を頑なに守り続け、「社会に役立つ創造的な企業」であり続けたいという原点の下、「持続可能な社会の実現に貢献できる企業」を目指してまいりました。

地球環境問題に向けた活動については、私たちに課せられた社会的使命であると捉えており、環境保全に関する法令遵守に加えて、地球環境に与える影響を常に意識した企業活動を推進しております。また、これらの活動は、「環境汚染防止」、「温室効果ガス削減/省エネルギー」、そして「循環型社会の形成」を3本の柱として掲げています。

私たちの「環境への取り組み」についてご理解いただくために、本年度もこの「環境・社会報告書」をお届けいたします。みなさまから忌憚のないご意見やご指導をいただければ幸いに存じます。

これからも、私たち「アネスト岩田グループ」をどうぞよろしくお願い致します。



アネスト岩田株式会社

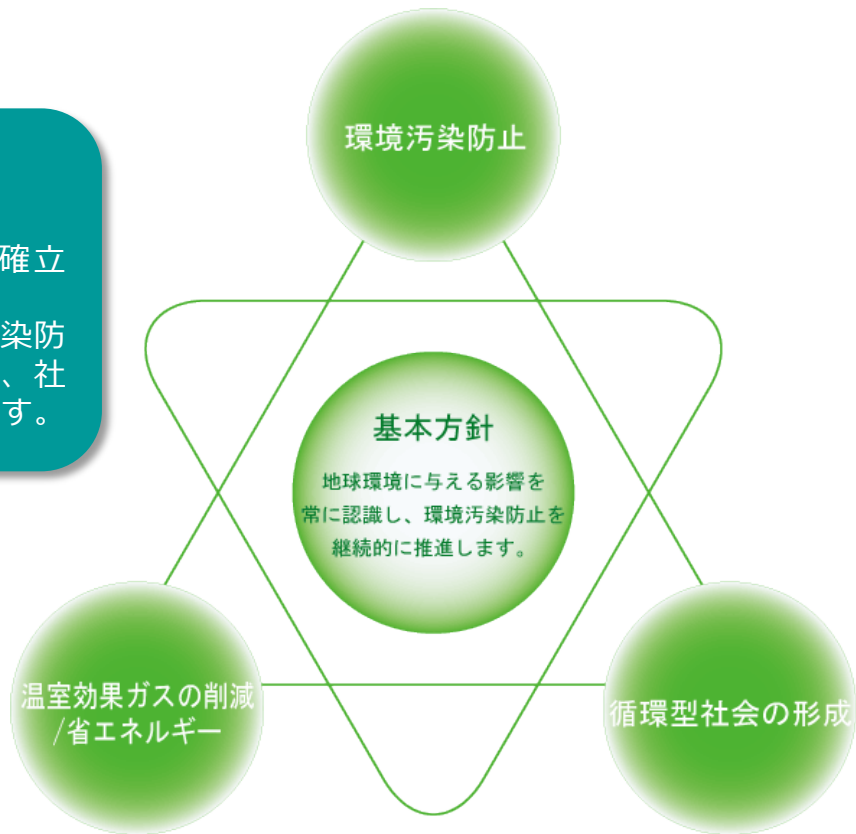
代表取締役 社長執行役員  
壺田 貴弘

地球との共生を図りながら、環境マネジメントシステムを効果的に運用するために、事業活動や製品開発を通じて環境保全活動を推進しています。

環境方針（抜粋）

基本理念

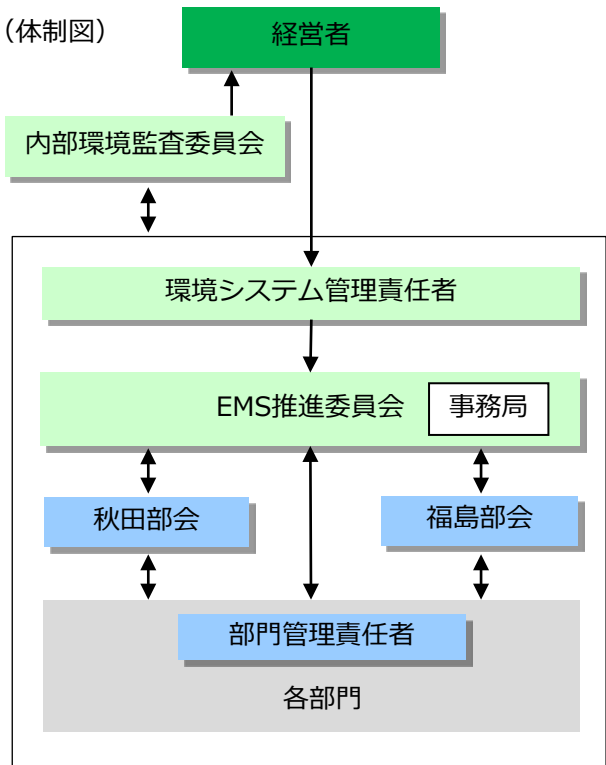
環境貢献型企業としての基盤の確立  
省エネ、省資源、リサイクル、汚染防止等の環境保全を継続的に推進し、社会貢献と利益の最大化を両立します。



環境経営

環境マネジメント体制

当社は環境保全を経営の重要な課題のひとつと捉えています。国内のグループ全体で同じ環境方針を共有しながら、目的・目標を掲げ、環境マネジメントシステム(EMS)を展開しています。これらを実践するために、ISO（国際標準化機構）の規格である、ISO 14001：2004に準拠した体制で継続的な改善に努めています。



## ISO 認証取得

当社では、本社をはじめ秋田工場・福島工場及び国内の子会社が一体となった環境管理活動を実現するため、環境マネジメント規格ISO14001：2004の統合認証を取得しています。

**1999年3月** アネスト岩田株式会社本社（塗装機メーカーとして国内初の認証取得）

**2004年4月** 現、秋田工場・福島工場

**2005年3月** 国内の全支店・営業所

**2008年3月** 国内の子会社を含む全社（ISO 14001：2004統合認証取得）

**2012年4月** アネスト岩田真空サービス株式会社を拡大認証

## 環境監査

当社での環境マネジメントの監査は、毎年1回の内部監査と外部の審査機関による環境マネジメントシステム審査を実施しています。内部監査では、認定内部環境監査員が10前後の監査チームに分かれて、2週間にわたり監査を実施します。

2014年度の内部監査では、システムを大幅に逸脱する不適合は見つかっておりません。また、外部審査機関によるISO 14001：2004に基づく定期審査においても、不適合事項はありませんでした。

## 環境法規制の遵守

当社では、該当する環境・公害に関する法律・条令などを一覧にまとめた「環境法規管理台帳」を作成しています。この台帳は法改正にあわせ随時改訂するほか、年に1度の定期見直しをしています。本社・秋田工場・福島工場において2014年度中の違反事例、行政指導・行政処分、構内の環境汚染につながる事故はありませんでした。

## 環境教育

2014年度は下記の主な環境教育を実施しました。

- ・EMS / 環境マネジメントシステム教育（新入社員向け）
- ・新任管理者研修 / 環境マネジメント活動（新任部門管理責任者向け）
- ・コンプレッサの「省エネセミナー」（社外向け）



本社敷地内には宿泊施設の完備された研修センターがあり、社内研修や販売店様向けの研修まで幅広く活用されています。

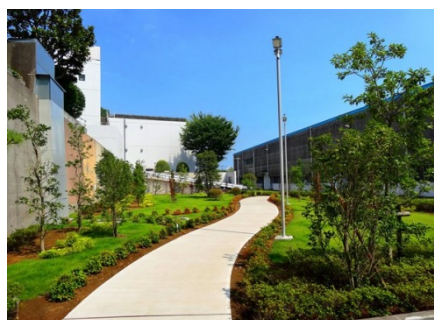
## 重要な環境課題及び主要な経営指標の状況

当社では重要な環境課題を「環境汚染防止」、「温室効果ガスの削減 / 省エネルギー」、そして「循環型社会の形成」を3本の柱に整理して活動しています。2014年度の活動概要は以下のとおりです。

◎ 目標を上回る成果があった ○ ほぼ目標を達成した × 目標未達成

項目	内容	KPI	2014年度実績	評価
環境汚染防止	水質汚染防止	3拠点（本社・秋田工場・福島工場）の排水測定値を規制値以内へ	3拠点とも目標を達成できました。	○
温室効果ガスの削減 及び省エネルギー	購入電力を年率で1%以上削減	購入電力を年率で1%以上削減	社内削減プロジェクトの実施により、前年度比11.9%減となり、目標を達成できました。	◎
	CO <sub>2</sub> 排出量2005年度を基準として2020年度までに15%削減。	CO <sub>2</sub> 排出量を前年度比で1%以上削減	前年度比6.1%減となり、目標を達成できました。	◎
循環型社会の形成	廃棄物の排出量の削減	廃棄物の排出量を前年度より削減	廃棄物排出量は1038 t（前年比0.4%減）となり、やや減少させることができました。	○
	廃棄物の資源化率のゼロ・エミッションを維持	3拠点（本社・秋田工場・福島工場）の廃棄物の資源化率95%を維持	3拠点とも目標達成となり、全体の資源化率は、99.3%（前年99.5%）と概ね維持できました。	○

※ 当社のゼロ・エミッションとは、「すべての生産拠点の廃棄物資源化率を95%以上にする」ことです。



積極的な緑化の推進

騒音・振動・臭気・水質ほか生産活動で発生するすべての環境負荷を低減し、環境汚染防止に努めると共に、製品の原材料の調達から販売までの環境負荷を削減するなど、お客様へ環境負荷の少ない製品やサービスを提供しています。

## 水質汚染防止と水資源の保護

本社からの排水は、2種類に分かれます。生産に使用された水はすべて 産業廃棄物として適法に処理されるクローズドシステムを採用しており 下水道へ混入することはありません。また、雨水・生活用水は下水道を利用して排水しています。

秋田工場においては、生産に使用した水、雨水・生活用水などすべての水が最終分離層で濾過され排水されています。また、ダイカストマシンの冷却水は専用の貯水槽で循環利用し排水量の削減に努めています。

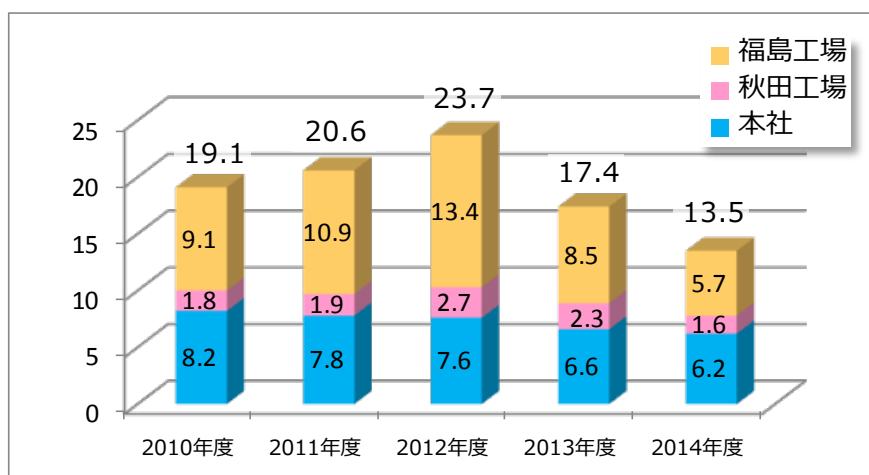
福島工場においても、生産に使用した水は産業廃棄物として処理するほか、貯水槽に集められ濾過装置を通した後、自然蒸発する方式を採用することで、環境負荷の低減に努めています。また、雨水はそのまま構内の側溝を経て河川へ排出しています。

本社・秋田工場・福島工場では、社外に排出される雨水・生活用水すべてを定期的に検査し、いずれも規制値以内であることを確認しています。

(排水測定値)

	本社	秋田工場	福島工場	規制値
水素イオン濃度 (pH)	8.2	6.5	7.6	5.0-9.0 未満
BO (mg/ℓ)	96	2.9	4.2	160未満
ノルマルヘキサン抽出物 (mg/ℓ)	3.4	1.0	1.1	5.0以下

(水使用量 / 単位:千m<sup>3</sup>)

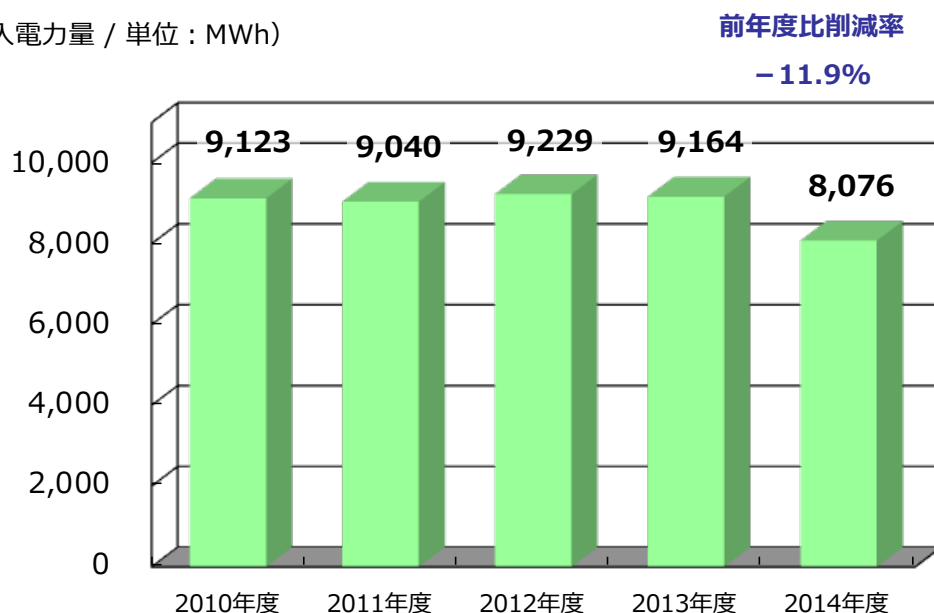


## 温室効果ガスの削減／省エネルギー

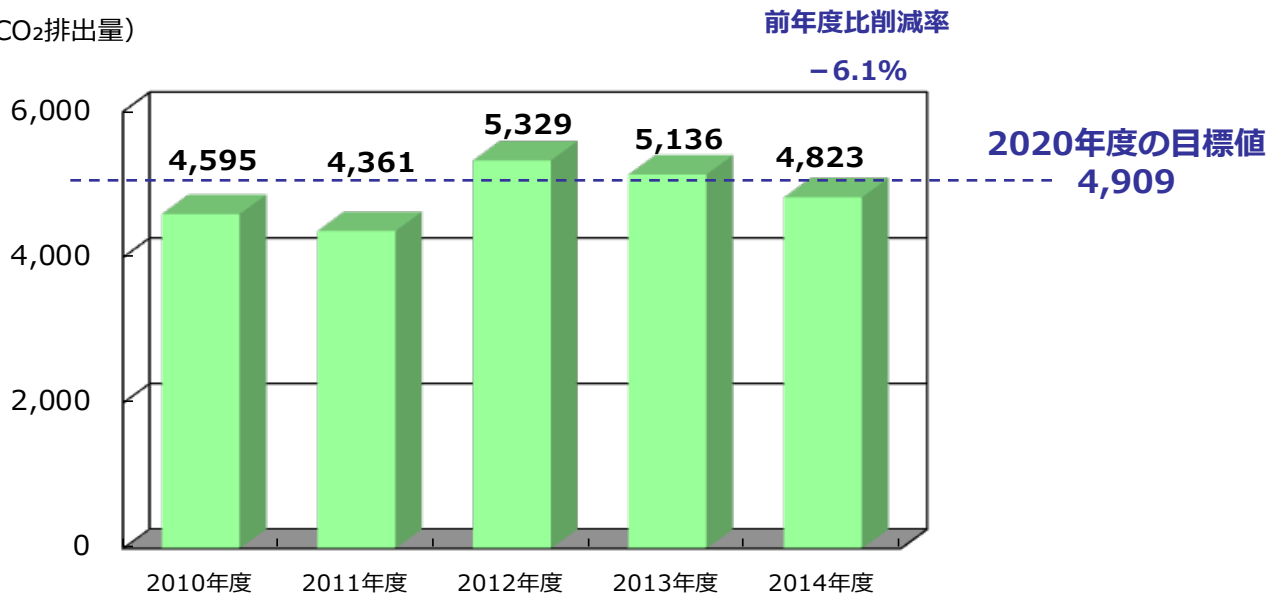
全てのエネルギー使用量の削減に努め、当社から排出される温室効果ガス（CO<sub>2</sub>）を削減し、地球温暖化防止に貢献しています。

### 省エネルギー・CO<sub>2</sub>削減（2014年度実績）

（購入電力量 / 単位：MWh）



（CO<sub>2</sub>排出量）



当社では「エネルギー管理規程」を定め、電力削減を中心とした省エネルギー活動を推進しています。具体的には作業場のレイアウト変更と集約化による効率化・ヒューマンエラーの削減・エア洩れの削減などの施策を継続実施し、使用電力量等のエネルギー削減に努めました。また、前年度よりも生産量が増加している状況の中、購入電力は11.9%減、CO<sub>2</sub>排出量も6.1%減となり、共に目標の前年比1%減を大幅に達成することができました。

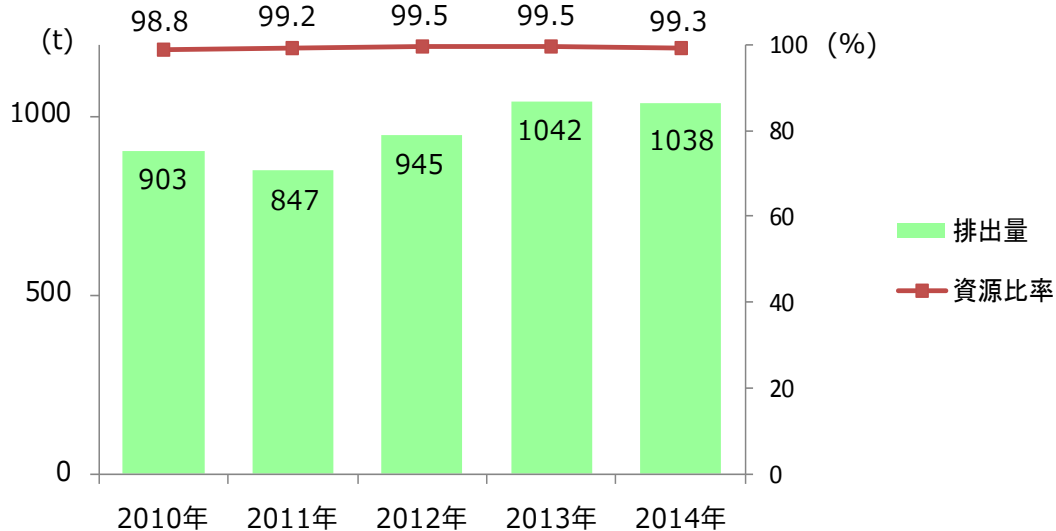
2015年度についても、「CO<sub>2</sub>排出量を2020年度までに2005年度の15%削減する」という長期の目標達成に向けて、省エネルギー活動を推進します。



## 循環型社会の形成

全ての国内拠点において、3 R（Reduce・Reuse・Recycle）を推進し廃棄物の資源化率=95%以上（ゼロエミッション）を維持しています。また、製品の開発・生産においても3 Rの考えに基づき、お客様が廃棄・資源化のしやすい製品・システム作りに努めています。

### 廃棄物排出量と資源化の推移



### 減量化

2014年度の廃棄物排出量は、1038 t（前年比0.4%減）となり、生産量等の増加する中、前年度と比較してやや減少させることができました。

### 資源化率

当社では国内主要拠点全ての資源化率を95%以上にすることを、ゼロ・エミッションと定義しています。これは2010年度から達成おり、2014年度もこの維持向上に努め、国内全体では資源化率を99.3%（前年度99.5%）に維持することができました。

なお、2014年度の主要拠点別では  
本社：100.0%（前年度：100.0%）  
秋田工場：100.0%（前年度：100.0%）  
福島工場：99.0%（前年度：99.3%）  
となり、前年度のレベルを維持しました。



発生した廃棄物は一旦、敷地内のリサイクルセンターに集積

### 今後の課題

廃棄物の資源化率の維持向上はもちろん、廃棄物の減少のために梱包用資材を見直す等の継続的改善を推進します。

環境配慮の製品をお客様にご提供し、地球環境保全に貢献しています。

## オイルフリースクロールコンプレッサ



**高いエネルギー効率**  
新開発の圧縮機本体を搭載した事により、  
最大14%エネルギー効率の向上



14  
%UP

**高い耐久性**  
基本設計から大幅に見直した事により、  
保障時間が従来機の1.6倍に延長



1.6  
倍延長

**メンテナンスコスト低減**  
シンプル設計を従来以上に追及し、  
メンテナンスコストが最大25%低減



25  
%低減

**騒音値が2dB低減（5.5kW）のみ**  
騒音パッケージを新規設計した事で、  
騒音性が大幅に向上



-2  
dB低減

SLP-Fシリーズ（5.5～7.5kW）

トップランナー制度に基づき、その他シリーズでも対象機種を省エネルギー高効率モータに切り替えました。

## ドライ真空ポンプ

地球環境・作業環境をクリーンに保つ  
オイルフリーの真空ポンプ



- ◇クリーンな真空で周囲環境を改善
- ◇低振動・低騒音で周囲環境を改善
- ◇高効率で省エネに貢献
- ◇油の管理からの解放による保守点検作業の軽減



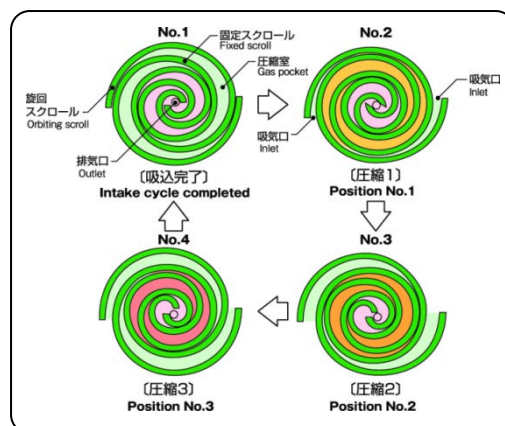
<GVS-500B>



<ISP-250C>



<DVSL-100C>



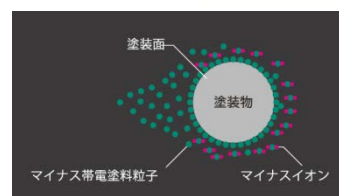
### 【圧縮機構】

旋回スクロールが、図No.1→No.2→No.3→No.4と旋回するにしたがって、点对称の位置にある三日月状の圧縮室の容積が徐々に小さくなり、気体は圧縮されて中心の排気口から排気されます。

## 塗装ロボット / 静電塗装機



薄く、早く、きれいに仕上げる回転塗装専用ロボット「スワン」。設置・移動が簡単に行えるコンパクト設計で被塗装物を選ばない広範囲な塗装生産を実現します。



塗料粒子を静電気で帯電させ、接地状態にした被塗装物に付着させる塗装方法で、正面からスプレーした場合でも被塗装物の裏側にも塗料が付着し、しっかりと塗装することができます。

## 荷崩れ防止用接着剤塗布システム



簡易塗布ユニット



水性のりを使用した荷崩れ防止システムのご提案により、従来のPPバンドやストレッチフィルム方式における輸送後の廃棄物処理や、ホットメルト方式における常時材料加熱による電力消費を軽減することができます。なお、簡易塗布ユニットは、既存のラインにも簡単に設置できるよう設計されております。

働く人すべてが健康で安全に、そしていきいきと働ける職場環境をめざしています。また、地域とのつながりも大切にしています。

### 労働安全衛生活動

当社では「安全第一」＝「安全は全てに優先する」を基本に労働安全に注力しています。このため、安全衛生マネジメントシステムを導入し、働く人が心身共に安全かつ健康で快適に働ける会社を目指しています。

(年度別の労働災害発生件数)

	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度
労働災害件数	4	5	7	1	5	5
内、休業災害件数	-	-	1	-	1	-

### 健全な労使関係

当社ではユニオンショップ制を採用しています。労使の代表は「経営の民主化」、「企業の発展」、そして「労働条件の維持改善」のため、経営協議会を毎月1回開催しています。人事関連諸制度の新設・就業規則・労働協約書の改訂に際しては、必ず労働組合と事前調整・交渉・調整の場を設けて意思疎通を図っています。お互いの立場を尊重することで、信頼関係の構築と健全な労使関係を築いています。



### 人間ドック補助金制度

当社の国内従業員は相互扶助のため、全社員がアネスト岩田共済会に加入しています。この共済会では従業員の健康維持管理や疾病の早期発見のための一環として、人間ドック補助金制度を導入しています。この制度は人間ドック（脳ドック・胃がんドック・大腸がんドックなども含む）を受診した従業員に対して8万円を限度に5年に1度、補助金を支給する制度です。健康維持向上のために活用しています。

### 産業医・保健師の指導

本社内に医務室を配置し、産業医が月に2日、保健師が週に2日勤務しています。産業医及び保健師は、安全衛生だけでなく、生活習慣病の予防、禁煙援助、メンタルヘルスケアなど、きめ細かい健康管理・サポートを実施しています。

秋田工場・福島工場においても産業医が月に1日勤務し、従業員の健康管理を促進しているほか、本社の保健師が訪問し、現地での健康相談も実施しています。また、本社の産業医による健康サポート講演会も実施しています。



## 子育て支援制度

育児休業制度、産前・産後休暇などの法定制度は有効に利用されています。また、出産・育児に関係するさまざまな制度が整備されています。

- 通院・通勤時間の配慮
- 出産祝金の支給
- 時間外勤務の制限
- 育児時間の配慮
- 特別休憩時間の配慮
- 短時間勤務
- 業務負担の軽減措置

(休暇取得率)

		2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度
本社 支店・営業所	産休・育児	23.1%	28.6%	20.0%	14.3%	37.5%	12.5%
	有給	55.4%	62.7%	57.9%	42.3%	51.7%	56.2%
秋田工場	産休・育児	-	-	-	-	100.0 %	-
	有給	49.7%	61.5%	62.9%	66.4%	56.4%	79.9%
福島工場	産休・育児	-	-	-	-	-	-
	有給	55.3%	53.5%	67.6%	78.5%	63.9%	63.4%

## 障がい者雇用

全社の2014年度の障がい者雇用率は2.29%となります。当社では障がい者の方が可能な限り就労して、社会参加することで自らを成長させて欲しいと考えています。そして、障がい者の方を雇用することは企業の社会的責任であると考えており、法定雇用率（2012年度までは1.8%、2013年度からは2.0%）を継続的に上回るように努めています。

(障がい者雇用率)

		2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度
全社	雇用率	1.78%	2.01%	2.01%	1.86%	2.29%	2.14%
	雇用数	10人	12人	11人	10人	12人	11人

## ハラスメントの防止

当社ではセクシャルハラスメントやパワーハラスメントを人権問題としてとらえ、指針を定めています。就業規則にも両ハラスメントの防止を定め、相談窓口を設置して従業員への教育および防止に努めています。

## 太陽光発電の拡大

東日本大震災より始まった電力不足対策である「再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法(2012.7.1 施行)」対応と省エネルギーや環境改善(CO<sub>2</sub>削減)を積極的に実施・推進するため、本社及び工場(秋田・福島)に太陽光発電設備を設置しています。

年間1,781,000kWh(発電効率100%時の値)の発電をおこない、このうち30,000kWh(発電効率100%時の値)を福島工場にて自家消費し、残りは電力会社等へ売電しています。尚、一般のご家庭で使用する年間電力量で換算すると、約335世帯が賄えることになります。



## 防災訓練

半年毎に各種訓練(消火器心肺蘇生・消火栓放水)を実施し、万一来臨しています。



## 近隣の小学校への寄贈

地元小学校へ小学生新聞を寄贈しています。



## 社会活動

当社ではアネスト岩田労働組合が主催し、毎年5月から7月の期間、周辺の公園、公道、最寄駅からの通勤路などで清掃活動を実施しています。また、本社では35年以上にわたり献血活動に協力しています。献血活動は年に2回実施され、日本赤十字社の献血バスを当社構内に駐車して実施しています。



## カタログの印刷用紙

利用料金の1%が、「あしなが東日本大震災遺児支援募金」へ寄付される印刷会社のプライベートブランド用紙を、当社製品カタログで多く使用しており東日本大震災遺児支援全般に役立てられます。



商号	アネスト岩田株式会社
英文商号	ANEST IWATA Corporation
本社所在地	〒223-8501 横浜市港北区新吉田町3176番地
創業	大正15年（1926年）5月1日
設立	昭和23年（1948年）6月2日
資本金	3,354,353,175円（2015年3月31日 時点）
発行済株式総数	41,885,505株（2015年3月31日 時点）
株主数	3,848名（2015年3月31日 時点）
決算期	3月31日
国内工場	秋田、福島
営業拠点等	仙台、東京、名古屋、大阪、福岡ほか
代表者	代表取締役 社長執行役員 壺田 貴弘
上場証券取引所	東京証券取引所第一部
主な事業内容	1. 空気圧縮機、空圧機器及び空気動工具の製造販売 2. 真空機械器具・装置の製造販売 3. 塗装用機械器具の製造販売 4. 塗装用設備の製造販売並びに設置工事 5. 接着用機械器具・設備の製造販売 6. 医療機器の製造販売 7. 電力供給装置、動力伝達装置の製造販売 8. 自然再生可能エネルギーによる発電・売電事業 9. 前各号に掲げる製品及び設備の開発、設計、施工及びコンサルティング業務並びにこれらの製品及び設備の製造に関する技術・ノウハウの販売。 10. 前各号に附帯関連する一切の事業
売上高	連結：28,376百万円 / 単独：16,862百万円（2015年3月期）
従業員数 （グループ総数）	1,410名 / 国内：563名 海外：847名（2015年3月31日 時点）
国内子会社	アネスト岩田コンプレッサ株式会社 アネスト岩田キャンベル株式会社 アネスト岩田コーティングソリューションズ株式会社 アネスト岩田真空サービス株式会社
海外ネットワーク （関係会社・支社）	イタリア、フランス、イギリス、ドイツ、スペイン、スウェーデン ポーランド、ロシア、南アフリカ、インド、アラブ首長国連邦 中国、台湾、韓国、タイ、ベトナム、ミャンマー（駐在員事務所） インドネシア、オーストラリア、アメリカ、ブラジル



本社



秋田工場



福島工場





アネスト岩田株式会社

ANEST IWATA

**EMS**

▶ 未来の環境 = 私たちが責任者

アネスト岩田グループの  
環境活動シンボルマーク

地球環境の保全と持続可能な社会の形成に取り組むため、1998年に行動スローガンとして策定しました。未来の地球環境を子供たちそして孫たち、さらには永遠に残していくために自分自身の責任と自覚で環境を守るという意思を表現しています。